

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院呼吸器センター外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2015年1月1日 ～ 2021年12月31日の間に、肺腫瘍のために虎の門病院呼吸器センター外科に入院・通院し、術前胸部CTにて空洞形成を示した方

【研究課題名】

空洞形成を伴う非小細胞肺癌手術症例における空洞壁厚と予後の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

空洞形成を伴う非小細胞肺癌において、その形成機序には様々な要因を伴っています。その臨床像はいまだ十分に解明されていません。そこで当科の空洞形成性非小細胞肺癌の手術症例を後方視的に、特に壁の厚さで分類し予後に影響を与える要因を検討します。

《研究に至る背景》

空洞形成を伴う腺癌と伴わない腺癌との比較において、空洞形成を伴う腺癌は遠隔転移が有意に少ないとの報告がある一方で、リンパ節転移・無再発生存期間などに関して予後不良との報告もあり、その臨床像はいまだ十分に解明されていません。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年11月2日 ～ 2024年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院、藤森 賢 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

検査データ、診療記録、病理結果、画像データ(Xp、CT PET)、薬歴、看護記録など

【虎の門病院における研究責任者】

呼吸器センター外科・ 藤森 賢

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2023 年 2 月 28 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 呼吸器センター外科・ 土屋武弘

電話 03-3588-1111(代表)